

姫路ケミカルセンターを増設

山九株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村 公大）は2024年10月1日、兵庫県姫路市で運営する危険物倉庫「姫路ケミカルセンター」を増設いたしました。

同センターは2022年に倉庫1棟で開設いたしましたが、同エリアにおける危険物倉庫に対するニーズは継続して高く、敷地面積を3,166㎡拡張し1棟（1,000㎡）の常温倉庫を増設することとなりました。

同センターは庫内に柱がないため、最大限の商品保管が可能なことが特徴で、掘り込み式コンテナスロープも設けており、法令で定められた倉庫天井高を最大限維持・活用できる構造です。貨種は国内貨物から輸出入貨物、小ロットから大ロット貨物、短期保管から長期保管まで幅広く対応をしており、特に1棟目同様に関西、中四国地方の各種メーカーからの在庫ストックポイントや輸出入発着拠点としての活用が可能です。近隣の各拠点と連携し、輸出入通関業務から倉庫・梱包、輸配送まで一貫して作業を遂行できる体制を整えております。

弊社は同日、10月1日に三重県で北勢第3物流センターを開設し、北勢第1・第2と合わせ中部地域で最大級の危険物倉庫群を運営開始しました。関東、中部、関西、九州を網羅する形で、全国13カ所の自社拠点において、総延床面積約27,800㎡の危険物倉庫を運営する体制となり、安心安全な形で危険品をお預かりいたします。



【施設概要】

名称：姫路ケミカルセンター
住所：兵庫県姫路市飾磨区今在1088番地（借庫）
増設時期：2024年10月1日
敷地面積：7,608㎡（事務所棟1棟） 倉庫面積：約2,000㎡（1,000㎡×2棟）
対応危険物：消防法第4類、アルコール類及び動植物油類（特殊引火物除く）
機能：消火設備、コンテナスロープ
アクセス：神戸港から65km、播磨臨海工業地域から10km
設計・施工：三和建設株式会社